

教師のマナビを支援する！

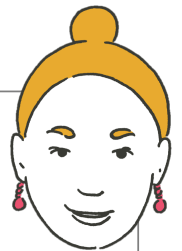
# マナビを紡ぐチームをつくる リフレクション



山辺恵理子

都留文科大学 文学部 国際教育学科 講師  
東京大学 大学総合教育研究センター 非常勤講師

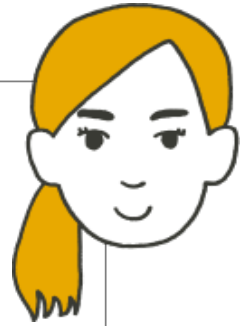
山辺恵理子（やまべ・えりこ）



都留文科大学 文学部 国際教育学科 講師  
東京大学 大学総合教育研究センター 非常勤講師  
博士（教育学）

専門は、教育の倫理、教師教育学。  
とりわけ、リフレクションや  
修復的正義（当事者による紛争解決）。

裴麗瑩（はい・れいえい）



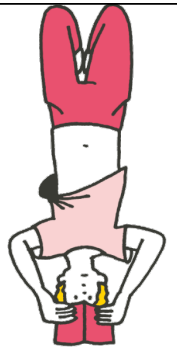
東京大学 大学総合教育研究センター  
特任研究員。

マナビラボ 調査分析担当。

専門は、社会医学、生物統計学。

教師のマナビを支援する！

マナビを紡ぐチームをつくる  
リフレクション



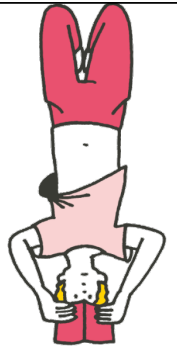
山辺恵理子

都留文科大学 文学部 国際教育学科 講師  
東京大学 大学総合教育研究センター 非常勤講師



教師のマナビを支援する！

# マナビを紡ぐ**チーム**をつくる リフレクション



山辺恵理子

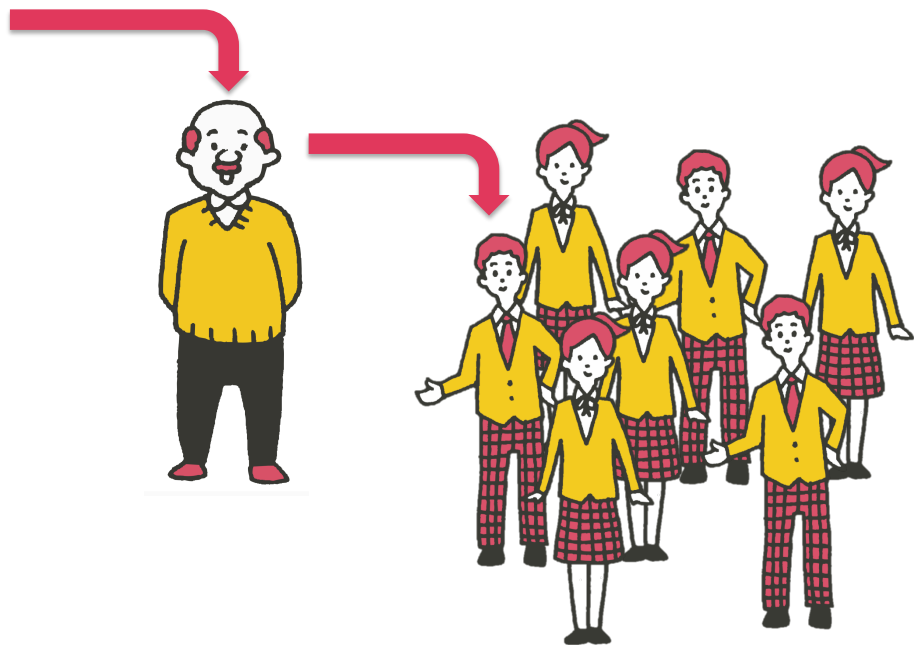
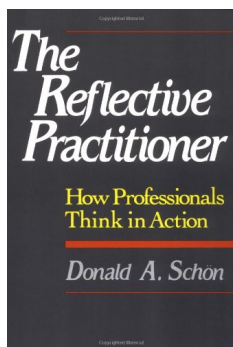
都留文科大学 文学部 国際教育学科 講師  
東京大学 大学総合教育研究センター 非常勤講師

学校が、**複雑化・多様化した課題**を解決し、子供に必要な資質・能力を育てていくためには、学校のマネジメントを強化し、組織として教育活動に取り組む体制を創り上げるとともに、必要な指導体制を整備することが必要である。(……)

学校において、子供が成長していく上で、教員に加えて、**多様な価値観や経験を持った大人**と接したり、議論したりすることは、より厚みのある経験を積むことができ、「生きる力」を定着させることにつながる。

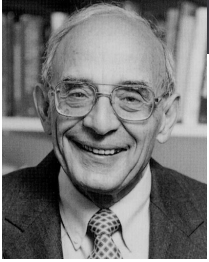
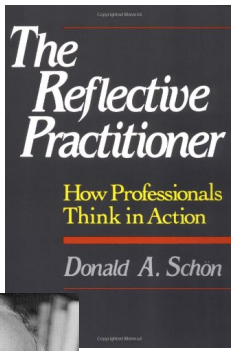
— 「**チームとしての学校**の在り方と今後の改善方策について (答申)」 2015年

# なにがどう 多様化・複雑化しているのか？



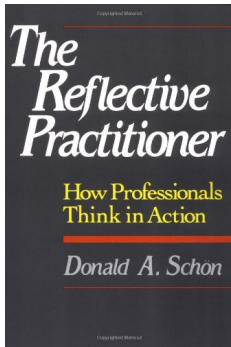
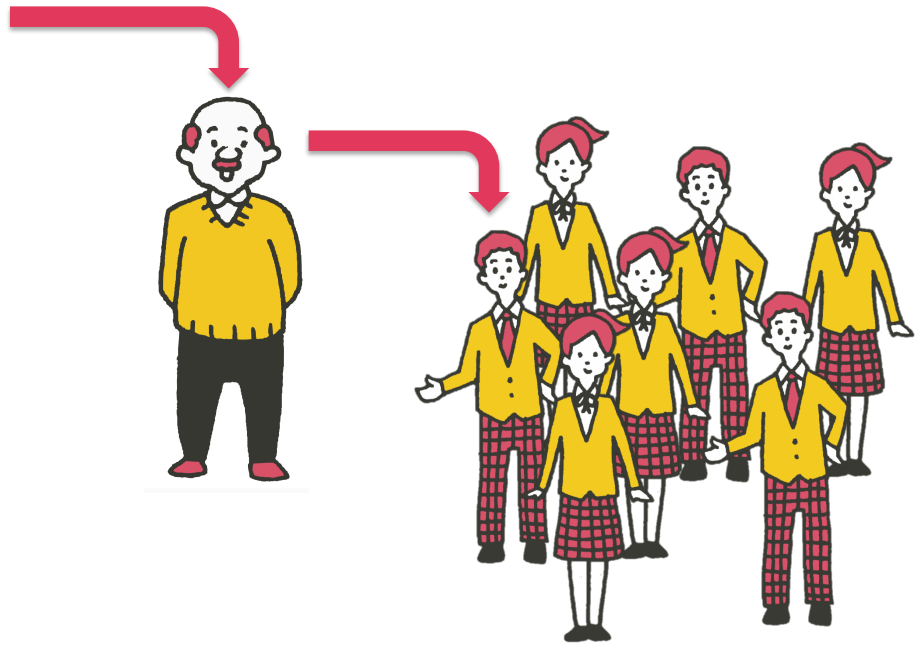
Donald Schön (1984)

未来を育てる  
ラボ  
ひとはもともとアクティブ・ラーナー！



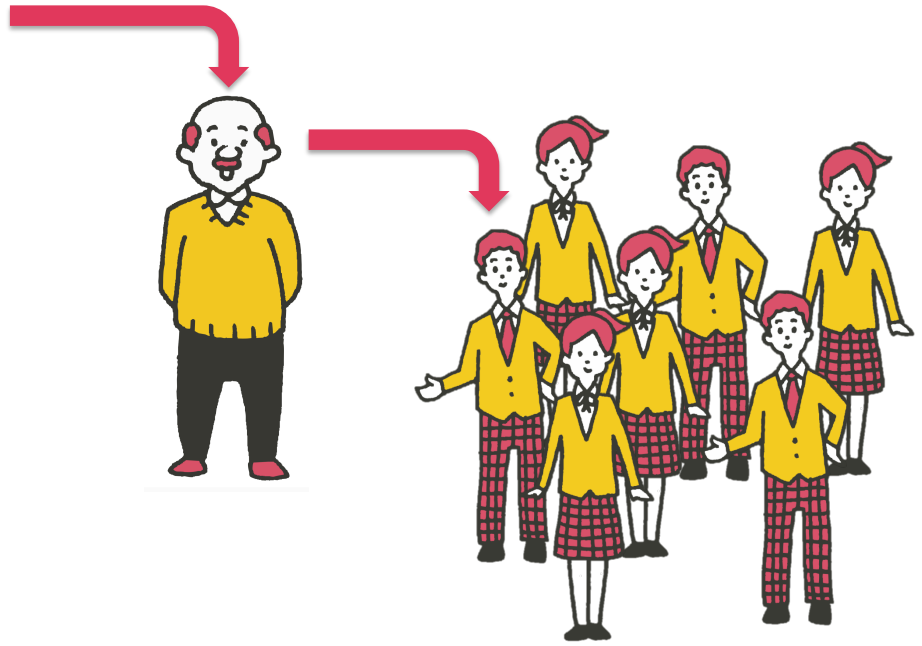
Donald Schön (1984)

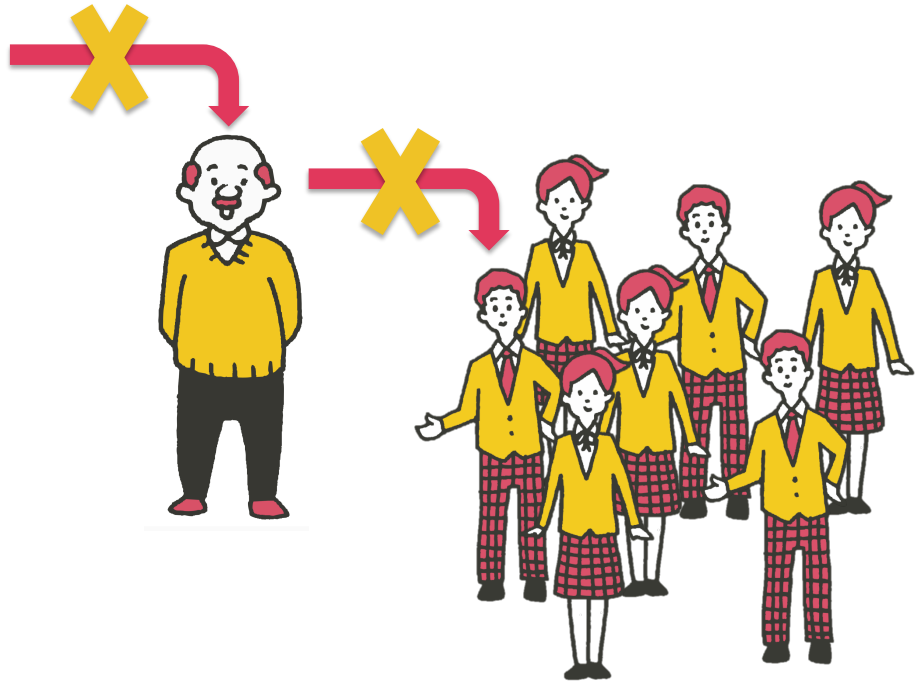
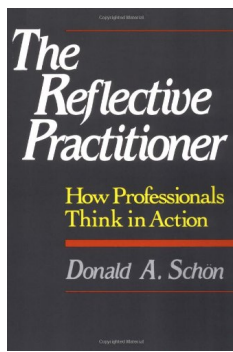
未来を育てる  
ラビラボ  
ひとはもともとアクティブ・ラーナー!



Donald Schön (1984)

未来を育てる  
ラビラボ  
ひとはもともとアクティブ・ラーナー!



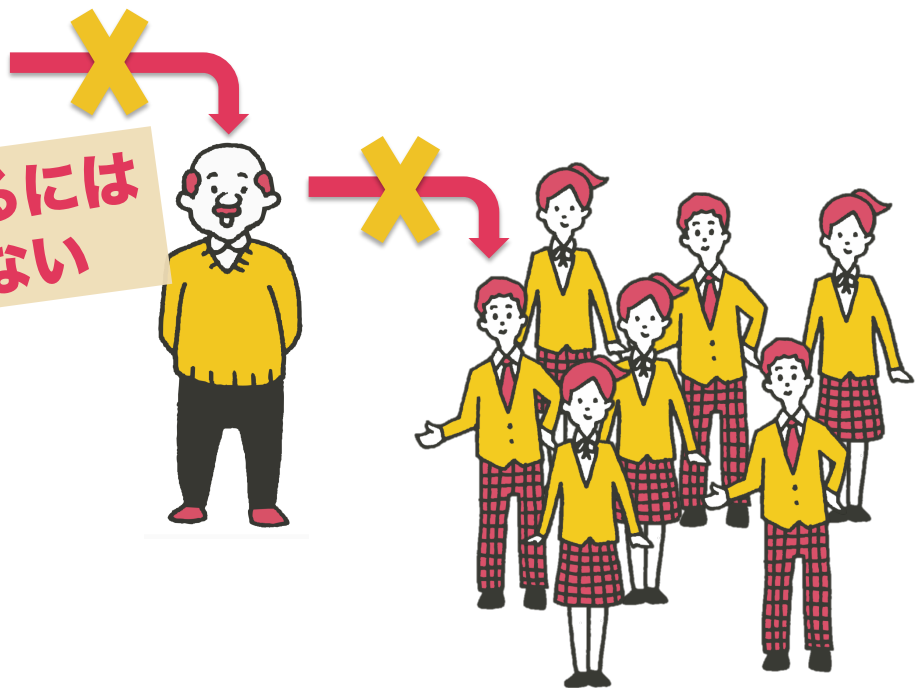


Donald Schön (1984)

未来を育てる  
フジラボ  
ひとはもともとアクティブ・ラーナー!



①人生に備えるには  
情報が足りない



Donald Schön (1984)

未来を育てる  
フジラボ  
ひとはもともとアクティブ・ラーナー!

The Reflective

①人生に備えるには  
情報が足りない

②社会から求められる  
仕事・能力が変化

未来を育てる  
マナビラボ  
ひとはもともとアクティブ・ラーナー!

This diagram illustrates a disconnect between an individual and society. On the left, a man in a yellow sweater stands next to a book titled 'The Reflective'. A red arrow points from the book to him, but it is crossed out with a large yellow 'X'. On the right, a group of people in school uniforms stands together. A red arrow points from the group to the man, also crossed out with a large yellow 'X'. Two text boxes with red text are overlaid on the diagram: one on the left and one on the right.

The Reflective

①人生に備えるには  
情報が足りない

③ティーチャーメイドの  
教育の構想

②社会から求められる  
仕事・能力が変化

未来を育てる  
マナビラボ  
ひとはもともとアクティブ・ラーナー!

This diagram is similar to the one above, but includes an additional text box. It shows the same man and group of people with crossed-out arrows. The text boxes are: ①人生に備えるには情報が足りない (top left), ③ティーチャーメイドの教育の構想 (middle, overlapping the man), and ②社会から求められる仕事・能力が変化 (bottom right).

# この生徒たちに対して なにを、どう育む？

→教育目標や  
カリキュラムの  
再構想

③テーラーメイドの  
教育の構想



# この生徒たちに対して なにを、どう育む？

→教育目標や  
カリキュラムの  
再構想





教師のマナビを支援する！

マナビを紡ぐ**チーム**をつくる  
リフレクション

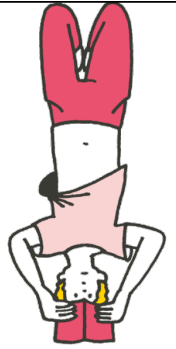


山辺恵理子

都留文科大学 文学部 国際教育学科 講師  
東京大学 大学総合教育研究センター 非常勤講師

教師のマナビを支援する！

マナビを紡ぐ**チーム**をつくる  
リフレクション

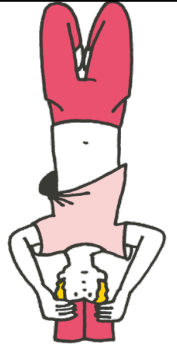


山辺恵理子

都留文科大学 文学部 国際教育学科 講師  
東京大学 大学総合教育研究センター 非常勤講師

教師のマナビを支援する！

# マナビを紡ぐチームをつくる リフレクション



山辺恵理子

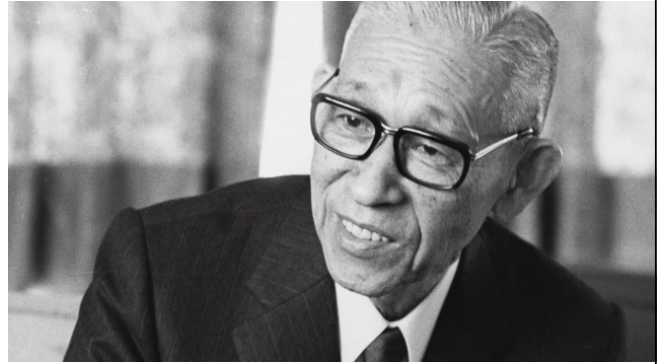
都留文科大学 文学部 国際教育学科 講師  
東京大学 大学総合教育研究センター 非常勤講師

## リフレクション＝ふり返り？

「誰でもそうやけど、**反省する人**はきっと成功するな。  
**本当に正しく反省する**。そうすると次になにをすべきか、  
なにをしたらいかんか、ということがきちんとわかるから  
な。それで**成長していくわけや、人間として**。

反省せんと、そういうこと  
がわからへんからな。同じよ  
うなことをするわけや。間違  
いをくり返すということやな」

一松下幸之助



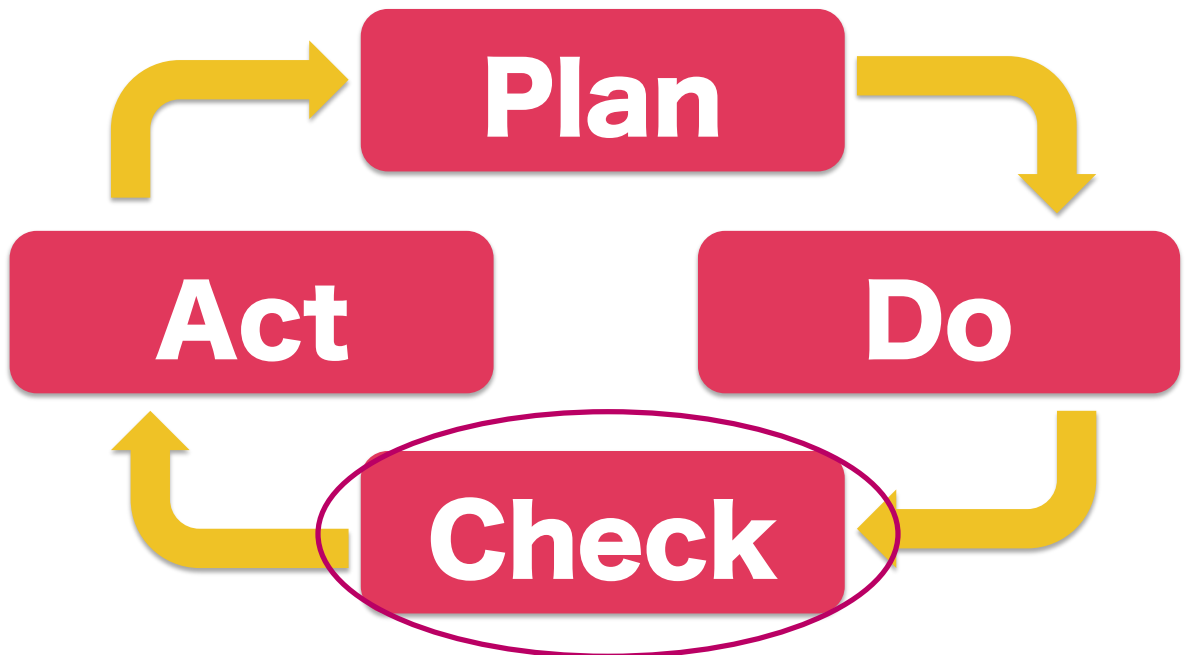
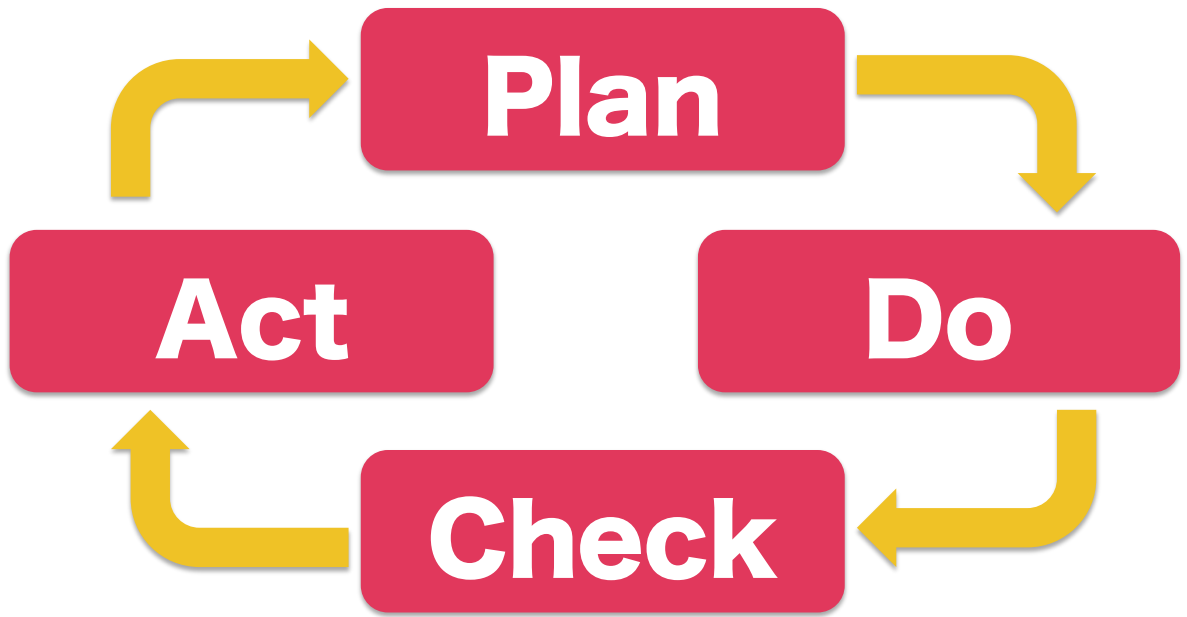
未来を育てる  
**マナビラボ**  
ひとはもともとアクティブ・ラーナー!

## ドナルド・ショーン *Donald Schön*

- ・元マサチューセッツ工科大学教授
- ・大人の学びや専門家（熟練者）の行動を分析する中で、「**省察 (reflection)**」が重要な役割を果たしていることを発見

未来を育てる  
**マナビラボ**  
ひとはもともとアクティブ・ラーナー!





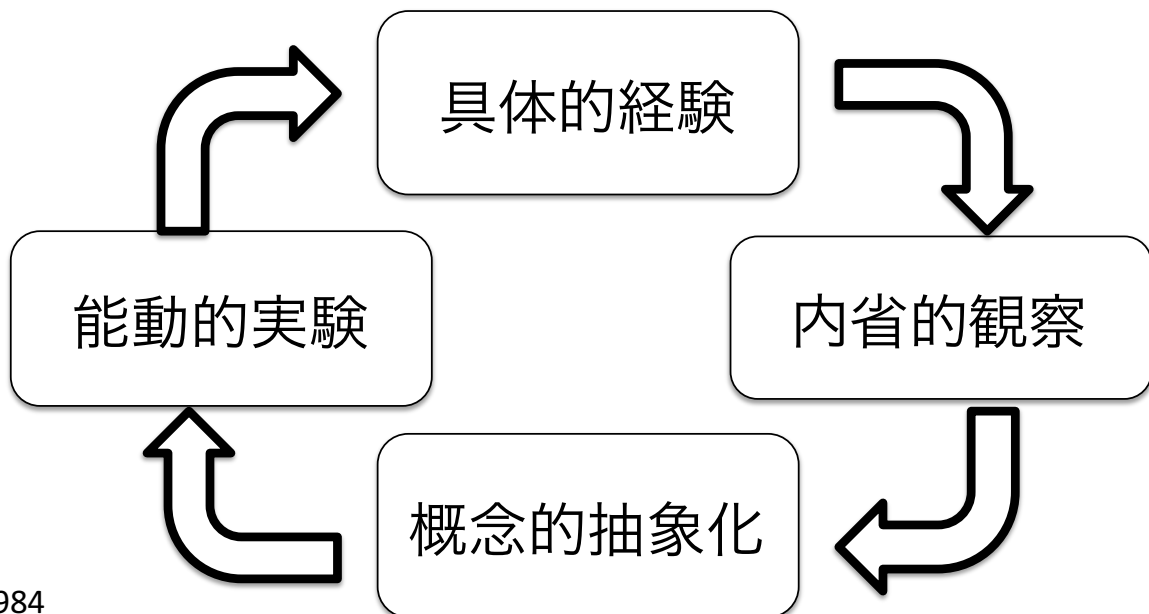
# デイビッド・コルブ

David Kolb

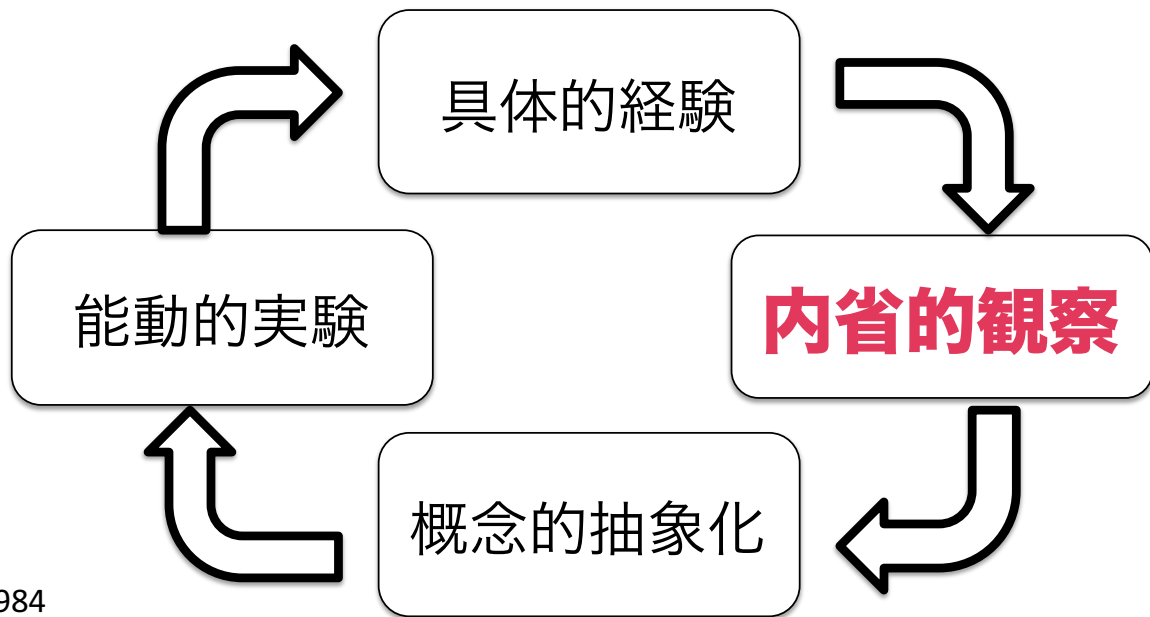
・ ケース・ウェスタン・リザーブ大学  
名誉教授

・ 「学びとは、経験を変容させて  
知識を創り出すプロセスである」

*Learning is the process whereby  
knowledge is created through  
the transformation of experience*



Kolb, 1984



Kolb, 1984

未来を育てる  
**マナビラボ**  
 ひとほどもとアクティブラーナー!

## リフレクション

*Reflection, Reflexion*

- ・ 上手い下手がある
- ・ うまければ  
改善や成長、学び  
につながる



未来を育てる  
**マナビラボ**  
 ひとほどもとアクティブラーナー!

こども時代の記憶で  
**「幸せ」**を感じた瞬間を  
思い出してください

こども時代の記憶で  
**「幸せ」**を感じた瞬間を  
思い出してください

**分科会3ルール**  
**「さん付け」**で呼び合ってください！

この1年間に振り返って、  
あなたがしてきた「仕事」を  
ワン・センテンスでご説明ください。

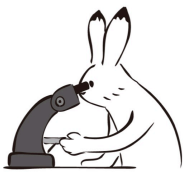


注意



「ご職業」「ご所属」「肩書き」は不要です。  
「〇〇する仕事です」など「動詞」でご説明ください。

RESEARCHER  
研究者



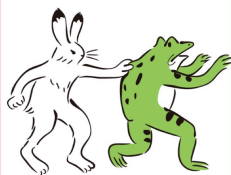
TEACHER  
OF TEACHERS  
教師の教師



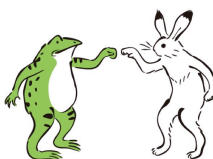
CURRICULUM  
DEVELOPER  
カリキュラム開発者



GATEKEEPER  
ゲートキーパー (門番)



COACH  
コーチ



BROKER  
仲介人





RESEARCHER  
研究者

TEACHER  
OF TEACHERS

CURRICULUM  
DEVELOPER

専門職としての  
教師教育者

教師を育てるひとの役割、行動と成長

The Professional Teacher Educator  
Roles, Behaviour, and Professional Development of Teacher Educators  
by Maja Lunenburg, Juridin Dengelak and Fred Korthagen



ミーケ・ルーネンベルク  
ユリジン・デンゲラク  
フレッド・A・J・コルナハーヘン  
武田裕子、山辺恵理子 訳  
入道実 監訳

五洋大学出版部

1991年から2011年までの  
**20年**の間に発表された

「教師教育者」「教員養成指導者」  
「指導教諭」に関して  
書かれた文献を分析した結果、  
**6つの役割**が浮かび上がった

未来を育てる  
**ラジラボ**  
ひとはもともとアクティブ・ラーナー!



RESEARCHER  
研究者

TEACHER  
OF TEACHERS

CURRICULUM  
DEVELOPER

専門職としての  
教師教育者

教師を育てるひとの役割、行動と成長

The Professional Teacher Educator  
Roles, Behaviour, and Professional Development of Teacher Educators  
by Maja Lunenburg, Juridin Dengelak and Fred Korthagen



ミーケ・ルーネンベルク  
ユリジン・デンゲラク  
フレッド・A・J・コルナハーヘン  
武田裕子、山辺恵理子 訳  
入道実 監訳

五洋大学出版部

**教師教育者**

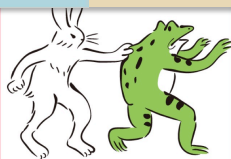
：教師を志す学生や、教育実習生、  
若手教員を**指導**したり、  
同僚の**成長をサポート**するひと

KEEPER  
グレートキーパー (門番)

COACH  
コーチ

BROKER  
仲介人

未来を育てる  
**ラジラボ**  
ひとはもともとアクティブ・ラーナー!



RESEARCHER

研究者



TEACHER OF TEACHERS

教師の教師



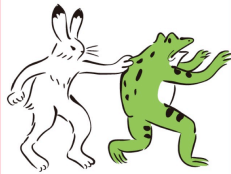
CURRICULUM DEVELOPER

カリキュラム開発者



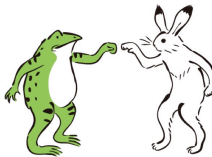
GATEKEEPER

ゲートキーパー (門番)



COACH

コーチ



BROKER

仲介人

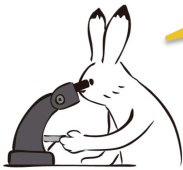


未来を育てる  
ラビラボ  
ひとはもともとアクティブ・ラーナー!

自分なりの教師教育学を探究しよう

RESEARCHER

研究者



TEACHER OF TEACHERS

教師の教師



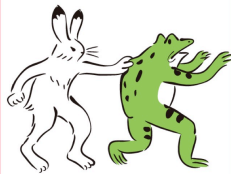
CURRICULUM DEVELOPER

カリキュラム開発者



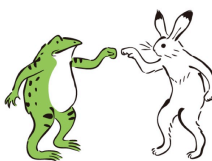
GATEKEEPER

ゲートキーパー (門番)



COACH

コーチ



BROKER

仲介人



未来を育てる  
ラビラボ  
ひとはもともとアクティブ・ラーナー!

RESEARCHER  
研究者



TEACHER  
OF TEACHERS  
教師の教師

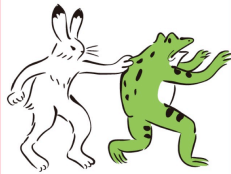


ロールモデルとして  
自分の背中をみて学んでもらおう

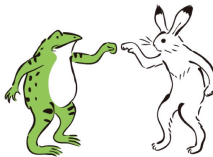
CURRICULUM DEVELOPER  
カリキュラム開発者



GATEKEEPER  
ゲートキーパー (門番)



COACH  
コーチ



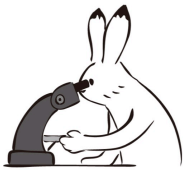
BROKER  
仲介人



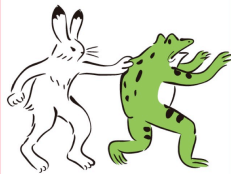
未来を育てる  
ラビラボ  
ひとはもともとアクティブ・ラーナー!

教師を育てる手順 (カリキュラム)  
を開発しよう

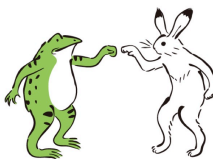
CURRICULUM  
DEVELOPER  
カリキュラム開発者



GATEKEEPER  
ゲートキーパー (門番)



COACH  
コーチ



BROKER  
仲介人



未来を育てる  
ラビラボ  
ひとはもともとアクティブ・ラーナー!

RESEARCHER  
研究者



TEACHER  
OF TEACHERS  
教師の教師

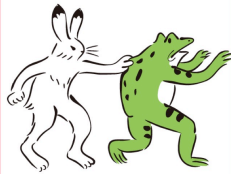


CURRICULUM  
DEVELOPER  
カリキュラム開発者

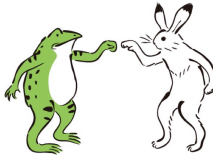


葛藤はあるけど、  
教師の質を保証することも大切

GATEKEEPER  
ゲートキーパー (門番)



COACH  
コーチ



BROKER  
仲介人



未来を育てる  
ラビラボ  
ひとはもともとアクティブ・ラーナー!

RESEARCHER  
研究者



TEACHER  
OF TEACHERS  
教師の教師

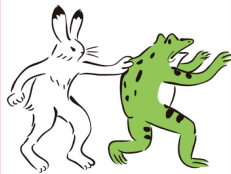


CURRICULUM  
DEVELOPER  
カリキュラム開発者

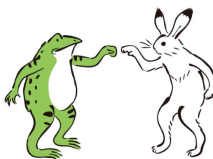


教師自身の学びや成長を支えよう

GATEKEEPER  
ゲートキーパー (門番)



COACH  
コーチ



BROKER  
仲介人



未来を育てる  
ラビラボ  
ひとはもともとアクティブ・ラーナー!

RESEARCHER  
研究者



TEACHER  
OF TEACHERS  
教師の教師

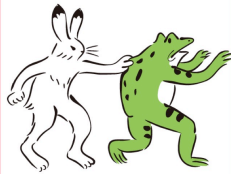


CURRICULUM  
DEVELOPER  
カリキュラム開発者

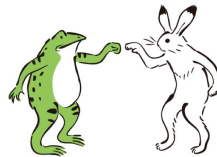


教師の成長を支える  
さまざまな関係者との連携を円滑にしよう

GATEKEEPER  
ゲートキーパー (門番)



COACH  
コーチ



BROKER  
仲介人



未来を育てる  
フジラボ  
ひとはもともとアクティブ・ラーナー!

**同僚や若手、実習生などの  
「力を引き出せた」**

エピソードを思い浮かべてください。

未来を育てる  
フジラボ  
ひとはもともとアクティブ・ラーナー!

# 同僚や若手、実習生などの 「力を引き出した」

エピソードを思い浮かべてください。

6つの役割に当てはめるとしたら、  
どれが一番近いですか？

## シェアする際のルール

### 「ヒーロー・インタビュー」の法則

に沿ってお願いします

《法則》

- ①
- ②
- ③

6つの役割に当てはめるとしたら、  
どれが一番近いですか？

## シェアする際のルール

### 「ヒーロー・インタビュー」の法則

に沿ってお願いします

《法則》

- ① **讚える（まず拍手！）**
- ② **そのときの「気持ち」を聞く**
- ③ **今後の抱負を聞く**

最後に、

いまの**仕事上の悩み**を一人1つ  
**1分**で簡単に共有してください。



注意



「悩み」を語る際には「目標」とセットでお願いします  
例：○○したいからこそ、△△がネックになっている

# リフレクション *Reflection, Reflexion*

未来を育てる  
**マナビラボ**  
ひとはもともとアクティブ・ラーナー!



## ジーン・クランディニン *Jean Clandinin*

- ・ アルバータ大学 教授
- ・ 自分の物語を語ることを通して  
教師の成長を支援する  
**ナラティブ・インクアイアリー  
(Narrative Inquiry)**  
の第一人者

未来を育てる  
**マナビラボ**  
ひとはもともとアクティブ・ラーナー!







D. Jean Clandinin (2014)をもとに作成



# Professional Knowledge Landscape 専門的な知識の風景

In-classroom Places  
教室内的（仕事）場面

In-classroom Places  
教室内的（仕事）場面

D. Jean Clandinin (2014)をもとに作成



# ①自分語りすることの意義



# フレット・コルトハーヘン

*Fred A. J. Korthagen*

- ・ユトレヒト大学名誉教授
- ・「リフレクションを意味のあるものにするためにはどうすればよいのか」に着目して、方法に関する理論を確立
- ・行動中心のリフレクションから、意味付け中心のリフレクションへ



- ・ **Environment** 環境
- ・ **Behavior** 行動
- ・ **Competency** 能力
- ・ **Belief (about your own competency)**  
(自分にはできると)信じていること
- ・ **Identity** アイデンティティー
- ・ **Mission** 使命・目標
- ・ **Core Quality / Strength**  
強み

Based on Korthagen (1999)

- 
- ・ **Environment** 環境
  - ・ **Behavior** 行動
  - ・ **Competency** 能力
  - ・ **Belief (about your own competency)**  
(自分にはできると)信じていること
  - ・ **Identity** アイデンティティー
  - ・ **Mission** 使命・目標
  - ・ **Core Quality / Strength**  
強み

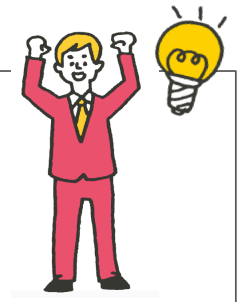
Based on Korthagen (1999)

## ②強みや意味づけを大切にする

- 
- ・ **Behavior** 行動
  - ・ **Competency** 能力
  - ・ **Belief (about your own competency)**  
(自分にはできると)信じていること
  - ・ **Identity** アイデンティティー
  - ・ **Mission** 使命・目標
  - ・ **Core Quality / Strength**  
強み

Based on Korthagen (1999)

## 本日お伝えしたいこと……



チームでのカリキュラム改善が  
求められている時代

チームでのリフレクションが大切

**自分語り**をあえて推奨する  
**強みや自分なりの意味付け**を大切にする  
**頭でっかちにならない**リフレクション